



患者さんの生活を支える相談窓口 ... 外来看護師の活動をご紹介します

常日頃より、診ます会の先生方には格別のご高配とご支援を賜り、感謝申し上げます。

看護協会では2025年に向けて「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」のビジョンを掲げ、地域で暮らす全ての人に焦点をあててきました。今、その年を迎え、私達看護師が人々の生活を地域で支える、「医療」と「生活」の両方の視点を持って全体を見通すことで、患者・住民の皆さまがご自身の状態に合った必要な支援を必要な時に受けることができているでしょうか。

そこで今回は、令和6年4月～令和7年1月における外来での認定看護師の専門分野の活動をご紹介します。当院には認定看護師18名と特定行為研修を終了した看護師が5名おり、入院中だけでなく生活の場における患者さんの個別的問題にも継続的に外来で相談・指導できる体制を整えております。

- 緩和ケア 癌と診断された患者さんへの医師の説明へ76件同席しております。患者さんには十分なご理解とご納得のうえで、治療を選択いただき、治療中も継続支援しております。
- 糖尿病ケア 糖尿病の在宅療養として食事・薬物・運動療法等についての指導数は648件、予防的なフットケア指導数は169件であり、患者さんの理解と実践可能な日常生活指導を行っています。

- がん化学療法 化学療法が安心して行われるように治療前のオリエンテーションをはじめ感染予防、口腔ケアの重要性、栄養と運動から精神的サポートまで113件の支援をしております。
- 褥瘡外来 皮膚科医師、薬剤師、リハビリスタッフと共に生活全般の中で褥瘡原因を除去し、早期治癒を目指した診療を延べ68件行っています。
- ストーマケア外来 ストーマ造設前・後の患者さんに心身共に安心出来るケアと支援を延べ227件に実施しています。一時的なストーマ・永久的なストーマの定期的・突発的なトラブルにも対応でき、いつでも相談出来る安心の場所となるようにと考えています。

私達看護師は、医師や多職種と連携を図り、退院後に地域で過ごされる患者さん個々の生活とその方にとって最善の方法を共に考え、適切で個別な支援を行っております。

これからも地域の基幹病院として、健康医療先進都市の実現に向け「地域の方々に愛され、信頼される病院」を目指し、地域ケア包括医療の一環を担ってまいります。今後とも変わらずご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

看護部長 折原 淑枝

